



元気いっぱい!!



〒150-0012

東京都渋谷区広尾4丁目1番1号

TEL 03-3400-0147 (代) 03-3400-1311

<http://www.med.jrc.or.jp/nyuji-in/index.html>

理念

私たちは、「人道・博愛」の赤十字精神を行動の原点として、子どもの最善の利益を守り、心身ともに健やかに成長できる保育看護を提供します。

私たちは、家族に寄り添い、地域との連携をはかり、家庭復帰を支援します。

新年度がはじまりました。

今年東京では、全国で一番早く桜が咲き始めました。桜は、暖かい日が続いても咲きにくいと聞きました。寒い冬があることで、春の暖かさに気づき、目覚めるようです。今年の東京の寒さと暖かさが桜の開花をどんどん促したのですね。

この春、乳児院を飛び立った子どもたちは、楽しいこと、うれしいこと、たくさんのお会いや経験を通して、大きく成長しました。そして、私たち職員も子どもたちと一緒に成長させてもらっています。

今、当院では、子どもたちが安全に安心して生活できるように、組織を改め、体制を整えているところです。乳児院でお預かりする子どもたちは、0歳から1歳、2歳と、自分自身では何もできないところから、一人で歩けるようになり、自分の気持ちを伝えようと意思表示をしてくれる時期で、人の一生の中でも大きく成長をする時期にあたります。そして、人との関係の中で、安心、心地よさ、信頼するという気持ちの土台を作る時期です。そこで当院では子どもたちの大切な時期を支えるために、「担当養育制」を行っています。子どもたちは、乳児院という大きな家族の中で生活しています。その家族が成長、発達を見守るために、担当養育者だけでなく、お部屋のチームみんなで一人ひとりの子どもたちをしっかりと見守っています。乳児院は、社会的養護の一つです。保育士、看護師の養育担当者以外にも、家庭支援専門相談員、里親支援専門相談員、心理士、栄養士、調理士、事務職員、清掃職員と、多くの職員が家族として子どもたちを見守り、さらに日々多くのボランティアの方々の力を借りて、子どもたちを支えています。子どもたちが迷うことなく成長発達出来るように、乳児院の中のチームワークを、より強固なものにしていけるように努力していきたいと思っています。

この4月に新しい仲間が増えました。事務長、看護師長、保育士3名、看護師2名、事務主事1名の計7名です。子どもたちの笑顔はとっても素敵です。子どもたちの笑顔、まっすぐ見る瞳、持っている力を大切にして、子どもたちとご家族の皆様が、一步ずつ前進できるように、それぞれの役割の中で応援、支援していきたいと思っています。

乳児院副部長 臼井孝子



ひなまつり

玄関前に飾った立派なお雛さまに子どもたちはびっくり。女の子は着物を着て、男の子も交代で記念撮影をしました。

お雛さまを模った可愛い「いなり寿司ランチ」、手作りの「お雛さまケーキ」のおやつも大好評でした。おいしかったー！！

ひなまつり会では、「うれしいなまつり」をはじめ、「すうじの歌」「コンコンクシャン」のペープサートを一緒に歌いながら見たり、「だるまさんが」では声をあげて楽しく過ごしました。みんなみんな、元気に大きくなりますように。



お雛さまのいなり寿司



お雛さまケーキ



お別れ遠足

寒さも緩んだ良いお天気の日、担当児と2人で川崎のキドキドにお別れ遠足に出掛けました。

Ｙちゃんとの遠足は今回が2回目です。5か月前に出掛けた時は、初めての電車に興奮してじっとしてられずに泣いたり、あばれたり大騒ぎでした。「もしや今回も？」とドキドキして覚悟して出発しましたが、Ｙちゃんは絵本を見たり、周りの様子を観察したりと、落ち着いて現地まで辿りつくことができました。

キドキドでは、場所見知りや人見知りをすることなく、忙しく遊び場を走り回りました。周りの子は誰も汗をかいていないのに、Ｙちゃんだけは汗びっしょりになるほど元気いっぱい遊びました。

たくさん遊んでもまだ帰りたくない泣いて現地を離れたＹちゃん。その後に行ったレストランで料理が運ばれてくるとすっかりご機嫌になり、自分のほっぺを叩いて美味しい〜と笑顔で何度も教えてくれました。

Ｙちゃんの成長が感じられ、思い出がいっぱいできた楽しい遠足となりました。



「赤十字幼児安全法講習会」開催報告

2月8日に、毎年恒例の幼児安全法を開催しました。

和気あいあいの雰囲気の中で、心肺蘇生法や気道異物除去などの実技講習が行われました。「お産の後にもこんな勉強会があれば良かった」「子どものためにも大切なことだと思った」など、感想が聞かれ、参加者の真剣な取り組みを感じました。

今後も、幼児安全法を継続して開催していきたいと思います。

皆さんの参加をお待ちしています。

講習会に参加して

心肺蘇生法以外にも、発熱、下痢、脱水時の判断や対応についても説明があり、保護者の方々に大変役に立つ内容が組み込まれていました。また、心肺蘇生法、窒息時の対応は少人数のグループだったため、人形を使って複数回練習することができ、滅多にない貴重な機会になったと思います。

ありがとう



皆さまのお気持ちに感謝

今年も多くの方々から色々な寄付をいただきました。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。

タオル、顔拭き、木製ベッド、おもちゃ、ぬいぐるみ、絵本の他に、たくさんのチューリップの球根が届きました。植えるタイミングが遅れてしまい、少し心配をしましたが、夏にナスやトマトなどを収穫した畑に、赤、紫、ピンクのチューリップが咲きました。子どもたちだけでなく、大人の目や気持ちも癒やしてくれています。本当にありがとうございました。

＜たくさんのご寄付ありがとうございました＞

宮野秀光、明治神宮崇敬婦人会、佐藤礼奈、永井康貴、道休紗栄子、芝仏教会、
サマーヒル インターナショナル、杉浦なつ子、カナダ大使館、日赤奉仕団新橋分団

(順不同、敬称略)

これからも引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。





新入職員紹介

はじめまして、看護師長の赤山美智代と申します。4月より乳児院に日赤医療センターから来ました。NICU と産科で仕事をしてきました。乳児院に来てからは、まだ慣れなくて右往左往しています。そんな中でも赤ちゃんや、子どもさんたちに元気をもらっています。これからもよろしくお願いします。

〈上・左〉

4月1日付で事務長となりました、斉藤公仁子と申します。まだまだ様子がわからない状況ですが、子どもの元気な声にこちらも明るくなります。子どもたちのためにも、よりよい施設となるよう皆さんと協力していきたいと思えます。慣れないことばかりで、ご迷惑をおかけすることが多々あると思えますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。〈上・中〉

皆さま、はじめまして。4月1日より医療センターから配属となりました、事務職の小林丈二と申します。まだまだ分からないこと多いので、しばらくは皆様にご迷惑をお掛けするかと思えますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。〈上・右〉

小児科病棟から異動してきました、看護師の榎木愛です。乳児院では入院生活とは違いお散歩に出かけたりマットの上で遊んだりのびのびと過ごす子どもたちの姿に癒されます。これから一生懸命仕事を覚え、ひとりひとりを大切に関わっていきたく思います。〈下・右〉

社会人1年目、保育士1年目なので、至らない点も多いですが子どもたちと共に成長していきたいと思えます。これからもよろしくお願い致します。
(保育士 山口美貴) 〈下・左2番目〉

はじめまして！この度こちらの乳児院でお世話になる栗林晶子です。以前は保育園で働いていました。持前の明るさを出して子どもたちと楽しく過ごさせていけたらなと思えます。どうぞ、よろしくお願いいたします。〈下・左3番目〉

4月から乳児部でお世話になる山下智世です。以前は一時保護所で幼児さんの保育をしていました。乳児さんの保育は初めてなのでドキドキしています。ご指導の程どうぞよろしくお願い致します。〈下・左〉

編集後記 桜の花びらが風に吹かれ、やわらかな春の陽射しの中で、元気いっぱい散歩を楽しんでいる子どもたち。皆で笑ったり泣いたり喧嘩したり色々経験を重ねています。保育者も一緒に成長しながら、日々楽しみたいと思えます。